

東部中学学習チューターに参加して

- ・他人に教える事の難しさを体感した。上手く教える、伝える事ができず、苦戦していても、東部中学生は、優しい生徒ばかりで自分から分かろうとしてくれ、中には「分かりやすい」と言ってくれた生徒もおり、とても嬉しく教員になりたいと強く思った。東部中学の先生も、生徒に楽しげに優しく接しており、自分もそういう先生になりたいと思った。(高3)
- ・今回参加して、他人に何かを教える、伝える事はとてもやりがいがあり楽しい事だと思った。相手に理解してもらったときは自分の事のように嬉しく思う自分に気がつく事ができた。誰にでも気軽に声をかけられるような人になる事、聞かれた事に的確に答えられるようになる事が私の目標です。(高2)
- ・それぞれの中学生に合った教え方を見つけ教える事は、とても難しいと分かった。(高2)
- ・つい最近まで中学生だったので、中3までの内容は覚えているから大丈夫と思っていたが、中学生を相手に分かりやすく教えるとなると、どう教えたら良いのか、どう教えれば相手に上手く伝えられるかという点が難しく、頭の中を整理する事に時間がかかり、言葉にする事に苦勞をし、自らの未熟さを痛感した。高校生活の様子や高校受験の体験なども話すことができ、受験の励みになれば良いと感じた。(高1)
- ・中学の時に苦手だった科目に関する質問があり不安であったが、いざ取り組んでみると、案外上手く説明することができ、自らの成長を実感することができた。(高3)
- ・東部中出身の私は、昨年、吉田高校の先輩方に学習や高校生活について教えてもらい、受験に対する意欲が高まった。その経験から後輩達のサポートができればと思い参加した。中学生に説明することで、分かったと笑顔を見せてくれ、高校生活の様子を話すと、目を輝かせて聞いてくれる様子を見て、とても嬉しく感じ、やりがいを感じた。(高1)
- ・昨年度このチューターに参加し、貴重な体験をできたことから、リピーターとなり参加した。今回のチューターに参加し一段と教育職に就きたいと強く感じた。人と関わる事は難しい事も多くあると思うが、それ以上に楽しさ、喜びもある事が分かった(高3)
- ・実際に教える立場、説明してみると、言葉では表現しにくい事や伝わりやすい言葉が思いつかない事があり、改めて学校の先生の授業がどれだけ凄い事なのかを実感した。公式を使って問題を解くにしても、何故この公式を使い計算するのか理由を説明できなく、自らの理解の浅さを痛感し、実力を付けなければと思った(高2)
- ・教える事の難しさ、教える事で自分の理解も深まる事が実感できた。(高1)
- ・1日目に数学を学ぶ事を嫌がっていた中学生が、2日目には、自ら数学の問題に取り組んでおり、その姿を見た私はとても嬉しかった。生徒一人ひとりのレベルに合わせて教えてあげる事ができ、とても良かったと感じた。勉強ができる生徒だけでなく、一人ひとりに寄り添ってあげる事ができる教員になりたいと思った。(高1)
- ・吉田高校生は中学生にとって憧れの対象であると言われ、嬉しくなるのと同時に、中学生に対して、恥ずかしくないような残りの高校生活を送らなければいけないと改めて思わせられた。(高3)